

佐賀県総合教育会議

[第33回]

・高大連携について

令和7年11月21日



ゼロからつくる！ 目指すのは チャレンジを続ける大学



日本一プロジェクトが生まれる大学

“チェンジ・メーカー”を育成

ディプロマ・ポリシー

学生に身につけてほしい能力

- ・課題発見、解決策創造、社会への実装
- ・多様性の尊重、周囲との協働
- ・枠に囚われず、失敗を恐れず、実践

カリキュラム・ポリシー

県立大の“学び”的イメージ

- ・県全体をフィールドにした**PBL**
- ・理論と実践の循環型の学び
それを実現するための知識習得、力を培う科目を設定

アドミッション・ポリシー

入学者に求めること

- ・社会への興味、関心、学ぶ意欲
- ・課題解決、新たな価値の創造への意欲
- ・柔軟な思考力を養う意志

※ 現時点のとりまとめ

学外との連携

- ・**小中高との連携** の推進、“ふだん使い”できる環境
- ・オール佐賀のサポート体制、県全体がフィールド、各地にベースキャンプ（活動拠点）
- ・企業や市町に伴走支援、地域のシンクタンク機能、企業価値の向上につながる関係づくり

PBL 課題解決型学習

PBL

課題解決型学習

学生が 県内の企業や地域の現場へ。

自分たちで課題を発見し、その解決策を考えていく実践的な学び。



Project Based Learning

STEP 1

企業や地域の現場を知る
フィールドワーク



STEP 2

議論をかさねて
本質的な課題を発見



STEP 3

解決策を考える
試してみる！



STEP 4

現場のみなさんに
解決策を提案



佐賀県全体が「学び」のフィールド！ 課題を解決できる力を育む

小中高との連携

小中高 との連携

高校生の学ぶ意欲アップ
探究心あふれるものに

継続することで小中学校へも波及

自分の「学び」
に対する
関心の高まり

大学を
“ふだん使い”
できる環境

大学を
身近に感じる

佐賀県全体の「学び」をよりよいものに

県立大学と県内小中高との連携を推進。

例)高校の探究学習(課題を自ら発見し、解決策を考える)の時間などを活用



高校との連携のイメージ

大学生が高校のチューターに



連携してプロジェクト実践



探究学習の成果発表の機会を提供

県立学校と大学の連携した取り組み

せいじやく

青鶴課題研究 致遠館高校理数科 × 佐賀大学 等

致遠館のスクールカラー「ウルトラマリンブルー(青)」×佐賀大学の校章「カササギ(鶴)」
国際的に活躍できる科学技術人材を高校と大学が力を合わせて育成しています。



1年生

大学と実験の基礎
を知る



大学の講義や
実験を体験

2年生

テーマを決め
研究に取り組む

8つの分野に分かれて研究!

数学・情報、物理、化学、機械、
電気・電子、都市工学、農学、医療

大学教授による研究指導

中間報告会で大学教員の助言を受ける



3年生

論文を英語でまとめ
研究発表



留学生が
科学英語を
指導

プレゼンも英語!

質疑だって
英語で受け、
英語で回答!



県立学校と大学の連携した取り組み

小城高校×九州大学

自分らしく輝ける社会の実現を目指して

高校生・大学生・PICFAのアーティストが
様々な立場でクロストーク



障害とは
何か



九州大学アクセシビリティ・ピアソポーターと
おぎすたいいるリーダーの交流



小城高校×PICFA壁画制作プロジェクトにも九州大学PSが参加
→壁画を通じ「多様性」「自分らしく輝く」というメッセージを発信

多久高校×福岡大学

大学生との学び合いによる**実践型ビジネス学習**

大学生による授業と販売実習を組み合わせ、
生徒の挑戦する力を育成×キャリア形成



大学生から
経営戦略を
学ぶ



地元店とも
コラボ



販売品目、原価、告知方法など
大学生から助言を受けながら
多久高マルシェを開催



県立学校と大学の連携した取り組み

高大接続科目プロジェクト 西九州大学・西九州大学短期大学部

- ・ 県内の3つのキャンパスで12科目を開講(スポーツ科学、保育、看護、介護、データサイエンスなど)
 - ・ 3日間(60分×12コマ)の受講と受講時の試験合格で大学の単位を取得
- 大学での受講が単なる体験で終わらず、大学での学びに関心が高まり、進路決定にも役立つ



佐賀
キャンパス

子ども学科
心理カウンセリング学科
地域生活支援学科
幼児保育学科

健康栄養学科
社会福祉学科
スポーツ健康福祉学科
リハビリテーション学科
デジタル社会共創学環



神埼
キャンパス

佐賀東高校
スポーツ科には
大学教員が
出前授業



小城
キャンパス

看護学科

県立学校と大学の連携した取り組み

「継続・育成型」の高大連携カリキュラム

とびらプロジェクト 県教育委員会×佐賀大学

県内の高校生を対象とし、高校3年間にわたり継続的にプログラムに参加

高校の3年間と大学の4年間で未来の教師を育む

教師 へのとびら

先輩・仲間と語り合う 「いい先生ってどんな人?」

教育実践演習にチャレンジ! 学級経営と生徒指導

平成26年度開講

多面的な視点を育て自身の適性や興味関心を発見

科学 へのとびら

AI・ロボット・生命科学 「理工学の部屋」

IT農業・食品化学・コスメ「農学の部屋」

平成28年度開講

自らの進路を見つめ直し、積極的な学びに繋げる

医療人 へのとびら

医療の現場「医療人の職種とチーム医療を知る」

医学部生とのディスカッション「医学部生の学び」

平成29年度開講

令和6年度は、県内の高校生

約1,300名 受講

アートの持つ多様性や社会への力を学ぶ

本庄キャンパス;毎年異なる専攻の教員が指導

有田キャンパス;産地を体感し焼き物を学ぶ

平成29年度開講

「読みとる」「書く」「話す」を身に付け社会科学を面白く

社会の出来事に関する文献やグラフを読み解く

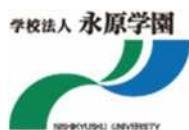
自らの考え、意見を論理的にまとめて発信!

平成30年度開講

アート へのとびら

社会 へのとびら

県全体の学びの質の向上につなげるため、
高校と県内の各大学において、どのような連携が考えられるか
意見交換いただきたい



西九州大学



SAGA WOMEN'S
JUNIOR COLLEGE

学校法人 旭学園 佐賀女子短期大学



佐賀県立大学
仮称

武雄アジア大学